

日本維新の会 綱領

平成二十五年三月三十日

日本は今、国際的な大競争時代の中で、多くの分野で停滞あるいは弱体化し、国民は多くの不安を抱えている。この大競争時代の中で、国民の安全、生活の豊かき、伝統的価値や文化などの国益を守り、かつ世界に伍していくためには、より効率的で自律分散した統治機構を確立することが急務である。なぜなら、二十世紀には長所とされた中央集権、官僚主導、護送船団型の国家運営が、脱工業化と情報化が急速に進む今や成長の大きな妨げとなっているからである。

日本維新の会は、都市と地域、そして個人が自立できる社会システムを確立し、現下の窮状から脱却することにより二十一世紀を拓き、世界において常に重要な役割を担い続ける日本を実現する。

日本維新の会は、我が国の歴史と文化に誇りを抱き、良き

伝統を保守しながらも、多様な価値観を認め合う開かれた社会を構築する。国からの上意下達に依ることなく、地域や個人の創意工夫、自由な競争によって経済と社会を活性化し、賢くて強い日本を構築する。

日本維新の会は、日本国が世界において名誉ある地位を占めることを実現する。世界に覇を求めず、平和と繁栄の増進に貢献するのが賢くて強い国である。日本維新の会は、「法の支配」、「自由主義」、「民主主義」等の価値を共有する諸国と連帯し世界の平和に貢献し、明治以来築き上げてきた技術基盤と技術革新力により文明の発展と世界の繁栄に寄与する。

日本維新の会は、国家再生のため、日本が抱える根源的な問題の解決に取り組む。決定でき責任を負う民主主義と統治機構を構築するため体制維新を実行する。

その基本となる考え方は以下の通りである。

一、日本を孤立と軽蔑の対象に貶め、絶対平和という非現実

的な共同幻想を押し付けた元凶である占領憲法を大幅に改正し、国家、民族を真の自立に導き、国家を蘇生させる。

二、自立する個人、自立する地域、自立する国家を実現する。

三、官の統治による行政の常識を覆し、「自治・分権」による国家運営に転換する。

四、勤労世代を元気にし、世代間の協力と信頼の関係を再構築する。

五、国民全員に開かれた社会を実現し、教育と就労の機会の平等を保障する。

六、政府の過剰な関与を見直し、自助、共助、公助の範囲と役割を明確にする。

七、公助がもたらす既得権を排除し、政府は真の弱者支援に徹する。

八、既得権益と闘う成長戦略により、産業構造の転換と労働市場の流動化を図る。